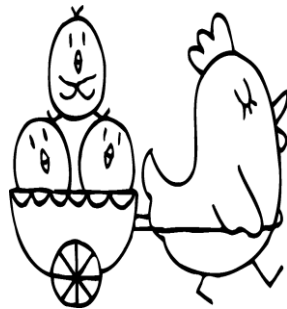


# ひよこだより

草笛学園 2025. 12・1月号



朝晩がぐっと冷え込むようになり、日中もだんだんと寒さがきびしくなってきましたね。大人も子どもも、毎朝お布団から出るのがつらい時期です。咳や鼻水が出たり、インフルエンザ等の感染症が増えたりする時期ですので、手洗いやうがいはもちろん、しっかりとご飯を食べて、十分な睡眠をとりましょう。室内を適度な温度と湿度に保つことも効果的なようです。2025年も、残すところあと1ヵ月！みんなで元気に過ごしましょう

**ワガママの意味、ワガママを卒業する方向～自分が理解されていると感じられるとき～**

## ワガママ、ダダコネの時代

1歳中頃に成立した自我は、「自分は独立した存在だ」と主張しました。同じことを、周囲の人にも要求します。「自分が周囲から尊重されているかどうか」とアンテナをはりめぐらせてハリネズミのようにになっている姿。それが、1歳半～3歳半頃の子どもの姿です。表象が豊かになった2歳児期は、1歳児期以上に「扱いにくい姿」が表れます。

1歳のころは表象が生まれたとはいえ、まだ未熟でしたから、おとなからの指示に「イヤ！」と反発することによって、「自立した存在」を主張しました。ところが、2歳をすぎると表象が豊かになるので、拒否ではなく子どもの要求が表現されます。そしてその要求を周囲がとりあげなかったとき、「ボクの要求を否定することは、ボクをないがしろにしたことだ」と感じ、ひっくりかえって怒るなどのダダコネが始まります。

母と子が買い物に行った帰り、親も子も疲れ果ててバス停で降りました。家まで歩かなければなりません。そのとき、子どもが「オンブスル！」と要求しました。おかあさんは疲れているうえに荷物をもっているわけで、要求に応えることができません。「もうちょっとだから歩きなさい」と言っても子どもは聞く耳を持たず、「オンブスル～！」とわめきます。「もう知らない！」と歩きはじめると、大声で泣きながら1～2メートル後ろをついてきました。10メートルほど歩いたあとで、泣き声があまりにも大きくてはすかしいので、とうとうおかあさんが根負けをしました。「わかった、わかった。おんぶしなさい」と背中を子どもに向けてしゃがむと、子どもは最初に要求した場所までの10メートルを一気に走り戻り、「ココカラ（ここからおんぶするの）！」と要求しました。

疲れているならその場でおんぶされればいいのに、疲れた体にむち打って10メートルを逆戻りしたわけです。「尊重してほしい」という自我の要求が、「すぐにおんぶしてほしい」という肉体の要求よりも強いことを物語るエピソードです。

2歳の子どもの要求には、常に二つの意味があります。ひとつは、言葉で要求されたとおりの要求です。「おんぶしてほしい」と言ったなら、言葉どおり、おんぶされたいという要求がこれにあたります。その裏側に、もうひとつの要求があります。「ボクを尊重して！」という自我の要求です。第一の要求だけならば、かなえられなかったとしても悲しくくやしいだけですが、第二の要求がかなえられなかったときには、怒ったり、ダダコネしたり、はげしいかんしゃくが引き起こされます。要求が二重構造を持っているために、3歳中ごろまではとても扱いにくい時代です。

「ボクはまんざらでもないでしょ？」「ボクはみんなから尊重されているでしょ？」という自我要求は人格の背骨ですから、常に満たしてあげたいものです。

はじめての子育て 育ちのきほん 0歳から6歳 / 神田英雄 著

## 『参加される皆様へ』 ～ご協力をお願いします～

- \* お休みをされる場合は、学園までご連絡下さい
- \* 参加費は、無料です  
(製作やクッキングの時は、材料費として100円いただきます)
- \* 水分補給のため、お茶を用意してください(ジュース類は控えてください)
- \* きょうだい児の参加はご遠慮ください。預け先がない場合は、事前に職員までご相談ください
- \* トラブルによるケガ防止のため、参加前に爪を必ず切ってきてください



## 次回のひよこ教室は・・・

①は1月はあいません！次回は**2026年 2月7日(土)**です

活動内容[サーキット]・持ち物[水筒・着替え]動きやすい服装で来て下さい

②は**2026年 1月17日(土)**

活動内容[サーキット]・持ち物[水筒・着替え]動きやすい服装で来て下さい

